

対馬釜山事務所だより

## グリーンパークに描かれた トンボとバツタの音符

今年の「ちんぐ音楽祭」は、去る8月27日、美津島町のグリーンパークで開かれました。10年目という節目を神様は知っていたのでしょうか、今までの中で最高の天気を実施して？くださいました。高い青空、爽やかな風、微笑む観客。そして、今年は特に観客の他に新しい友達がたくさん集まりました。皆様も出会ったでしょうか？トンボとバツタたち！

まるで、グリーンパークという五線紙の上に、音符のように飛ぶトンボと跳ね上がるバツタの群れが、10年ぶりに偶然再会した友達のように懐かしくて嬉しかったです。

今年は日本からは歌人羽を初め6組、韓国からはカン・サネを始め2組が参加しました。このほか、韓国からは3年ぶりにロックバンドのユン・ドヒョンさんも対馬に駆けつけてきてくれ、予定はなかったのに舞台上で歌を披露してくれました。



韓国で人気のロック歌手ユンさん

そして、今年も去年に続いて、釜山であった日本歌謡大会の受賞者6名が参加しました。参加者全員は舞台の上で挨拶し、その中で最優秀のチームのパク・スジン、パク・ソジョンさんは、受賞曲である「Crystal Key」の「Kiss」を披露しました。この二人の大きな声量と素敵なハーモニーに、観客席は一瞬静まりかえるくらいでした。

ちんぐ音楽祭に参加したある方の言葉が心に残ります。『10年たってもいつもそこで私を待っている「ちんぐ」のように懐かしくて素朴な点が「ちんぐ音楽祭」のよさだと思います。自然と調和した舞台、照明、そして雰囲気。そして人情味あふれる対馬の音楽祭がこれからも変わらないでほしいです。』この願いにさらに一つ希望を添えたとしたら、これから10年20年経って、日本歌謡大会で受賞した高校生が歌手になり、アーティストとして再びちんぐ音楽祭の舞台に立つことですね。



パク・スジンさんとパク・ヘギョンさん

また、9月9日～10日にかけて朝鮮通信使文化事業が釜山で開かれました。アリラン祭りから始まった朝鮮通信使行列再現は、この数年間、釜山市でも再現されるようになり、今年は行列や海神祭、日韓交流の夕べなどの行事がありました。対馬からは松村市長をはじめ、朝鮮通信使縁地連絡協議会の松原会長、朝鮮通信使行列振興会の山本会長、観光物産協会厳原支部、そしてヤマネコ太鼓保存会の皆さんが参加しました。

ヤマネコ太鼓は通信使行列と日韓交流の夕べの舞台上で演奏し、綺麗な衣装と迫力ある演奏に釜山市民からたくさんの拍手が送られました。ヤマネコ太鼓保存会の皆様、格好よかったです。



朝鮮通信使文化事業オープニング



ヤマネコ太鼓は釜山でも大人気

対馬釜山事務所 **金** **京一**、**辛** **恩京**